



平川 富章
（60分）
水曜会

世界バラ会議後の 取り組みは

問 得られた評価を、観光施策にどう生かしていくのか。

答 世界に類がないばらのまちの魅力の発信を強化していく。

北部地域の渋滞緩和は

問 これまでの対策の状況は。



千葉 真一
（65分）
水曜会

環境行政は

問 プラスチック資源循環促進法に基づいた計画的な分別収集と資源化が求められていると認識している。再資源化を推進していくためには、市民に分かりやすいプラスチックごみの分別処理、資源循環について啓発を進めていく必要があると考えるが。

答 幹線道路網の整備を国、県と連携して進めていくこととして

いるが、相当な期間を要するため当面、県道中野駅家線の加茂中学校西交差点と中野南交差点に、警察が右折信号をそれぞれ設置し、県道加茂福山線の牛田橋北交差点の北側において、県が右折レーンを延伸する整備を行ったところである。さらに、同交差点の南側の右折レーン設置に向け、現地測量を行っている。今後、万能倉南交差点と下加茂南交差点にも、右折レーン延伸などの渋滞緩和対策について、県に要望していく。

答 容器包装プラスチックと商品プラスチックを一括回収した後

の再資源化については、市民に分別やりサイクルの仕組みなどを理解していただくことが重要である。そのため、ホームページやSNSに加え、ごみ分別ガイドブックの配布や環境出前講座、環境月間などのイベントを通して、啓発を進めていく。
*その他、環境教育について質問しました。



加藤陽一郎
（60分）
水曜会

人口流出と産業振興は

問 産業振興が転出超過に歯止めをかけることにつながると考えるが。

答 企業の着実な成長や誘致による新たな産業の立地は、地域経済の活性化と雇用機会の創出をもたらし、人口の転出超過の防止に極めて重要と考えている。これま



生田 政代
（40分）
公明党

5歳児健診の実施体制は

問 現在の進捗状況は。

答 昨年度から福山市医師会をはじめ各地区医師会と早期の実施に向けて議論を重ねている。課題は、医師、保健師などの確保、円滑な就学につなぐ健診後のフォロー体制の確立、5歳児健診に対する保護者の理解促進などである。

でも、産業団地の造成や福山港、

福山道路などの整備による都市基盤の強化や、グリーンな企業プラットフォームを通じた魅力ある企業の創出などに取り組んでいる。

神辺のまちづくりは

問 都市計画道路川南湯田村駅線の川北工区の進捗状況は。

答 昨年度、国土交通省と橋梁部の協議が整い、全体の設計が完了した。現在用地取得に取り組んでおり、昨年度末時点での取得率は面積ベースで約8%となっている。

診察医の確保は、福山小児科医

農業振興は

問 農地の集積・集約化に意

欲のある集落が取り組まれている人・農地プランから農業経営基盤強化促進法が改正され地域計画へ変更になったが主な点は。

答 人・農地プランは、集落が策定主体となり、集落内の農業者を中心に農地の集積・集約化を図るものであり、地域計画は市が策定主体となるものである。